

特集

いきいきサポートセンターに 相談しませんか

市では、いきいきサポートセンター(地域包括支援センター)を運営しています。介護や健康、福祉などに関する悩みごとなどの相談に応じます。どなたでもお気軽にご相談ください。

問い合わせ

地域包括ケアシステム推進室 ☎内線3285、FAX (50) 8415

いつまでもいきいきと暮らすために… いきいきサポートセンターの紹介

いきいきサポートセンターはこんなところです！

いきいきサポートセンターでは、介護・健康・福祉などに関する相談ができます。高齢の方の相談だけでなく、介護している家族からの相談にも応じます。

主任ケアマネジャー・社会福祉士・保健師などが中心となって、一人一人の生活に合った相談・支援をしますので電話などでお気軽にご相談ください。

【相談内容の例】



他にも、次の相談ができます

- ◎要介護認定の申請をしたいが、体調が悪いので申請に行けない
- ◎フレイル予防や認知症予防の講座に参加したい
- ◎振り込め詐欺の被害に遭ってしまった
- ◎虐待されていると思われる高齢の方を知っているが、どうしたらよいか
- ◎親の介護が大変で、つい怒鳴ってしまう ほか



相談以外の活動もしています

地域のサークルや団体との交流、健康や権利擁護の講座の開催、回覧板などを利用したさまざまな情報発信など、各いきいきサポートセンターでは高齢の方々の生活を支援する活動も行っています。

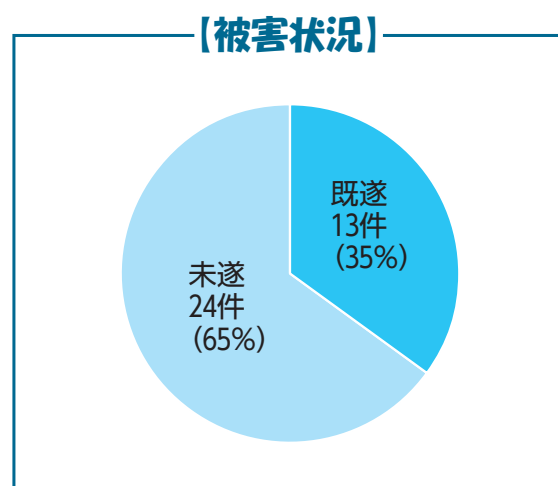
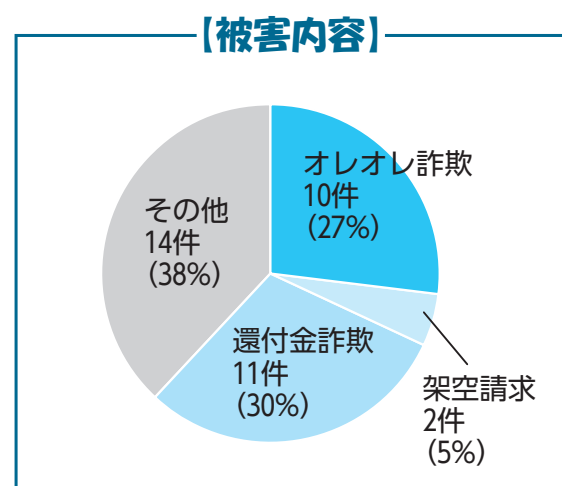


体操などを
楽しくやって
います☆



★詐欺被害への普及啓発を行っています

地域包括支援センターに寄せられた2019年度の詐欺被害情報は37件でした(下図)。被害に遭わないよう、本人や家族などからの相談に応じています。



被害の例

- ◎警察の職員を名乗る人が来て、「カードで40万円引き出されている」「キャッシュカードを悪用されないよう、封筒に入れてのり付けをした方がよい」と言う。目を離した隙に封筒をすり替えられ、気付いたときには現金が引き出された後だった
- ◎市役所の職員を名乗り、「年金の返金があるから取引銀行を教えてください」と言われた
- ◎ミカンの押し売り人が来て、高額な金額を要求された
- ◎年金支給日に銀行でお金を下ろしスーパーで買い物をするところ、知らない人物から突然威嚇され店外へ出され、金銭を要求され渡してしまった
- ◎殺鼠剤の交換をしたと言われ支払いを要求されたが、お金がないと答えると車で銀行に連れて行かれた。その場でお金を下ろして渡し、通帳も見られてしまった

終活ノートを知っていますか？

終活ノート(エンディングノート)は治療や介護、財産などに関する書くことで、自分の意志が表明できなくなったときに活用できます。

災害や事故に巻き込まれたり病気になる前に、家族とも話し合い、自分の考えを整理しておきましょう。

※終活ノートは地域包括ケアシステム推進室で配布しています

